

●生活・法律相談は

◆市議会議員

いぬい 紳一郎

◆市議会議員

徳増 きよ子

◆市議会議員

小田 桐たかし

◆市議会議員

植田 和子

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

流山民報

2016年4・5月号

第187号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加4-1688 TEL (7157) 6140

流山市議会事務局

TEL (7158) 1111

市民の願いにまじめに向き合う政治を日本共産党

福祉減らして市長・議員報酬増やす

安倍政権は3月29日、「安民法制」Ⅱ「戦争法」を施行。自衛隊が戦後初めて、南スーダンなどで武器を使用する現実的危険が迫っています。日本共産党は、戦争法廃止と立憲主義を取り戻すため、野党や市民との共闘をひろげます。

「子どもの貧困」「ワーキングプア」「下流老人」…経済大国日本が「貧困大国」に。アベノミクスは、大企業と投資家に巨万の富をもたらしたものの、国民は貧困と格差拡大にあえいでいます。「こんな国はおかしい」と市民が声を上げ始めました。

流山市議会は、日本共産党が提案した「貧困対策の強化・充実を求める意見書」を全会一致で可決しました。



「保育園落ちたの私だ」と国会前に駆け付けつけ待機児童問題の解決を求める保護者たち115日、国会前

負担増、弱者切り捨ての平成28年度予算に反対

今、地方自治法に明記された「住民の福祉の増進」という自治体の役割が待たれていきます。

しかし、平成28年度予算の規模は、人口増を反映し、過去最大に匹敵するものの、優先課題は、TX沿線開発や人口誘致に向けた宣伝を強めることになっています。

難病患者さんへの見舞金、障がい者の手当等の大幅削減、今でも首都圏で一番高い保育料をさらに引き上げ、子どもが多い世帯や滞納世帯を直撃する国保料の値上げ、後期高齢者医療保険料の値上げ…。弱者を「冷遇」する一方で、市長や議員は報酬引

出生率 全国平均上回る流山 安心して子育てできるまちを日本共産党

『保育園落ちた!!!』という匿名ブログが大きな波紋を広げ、政治を動かしています。入れる保育園をさがすための『保活』を含め、子育て環境の拡充は待ったなしです。とりわけ、『母になるなら、流山市。』と大宣伝し、出生率が全国平均を上回り県下でも2番目の流山市では、より積極的な取り組みが必要です。

しかし、保育園入園を断るための『不承諾』通知が500枚余も発行されるなど流



き上げとは、やっていることが逆立ちしています。

日本共産党は、最大規模にまで借金（井崎市政になってから12年間で市民一人当たり9万2千円）を増やしながらか、積立金の大幅減、老朽校舎や焼却炉の更新費用などの見通しがたっていないこと、消防士や保健師の不足、ハシゴ車の増車ができない実態を告発。市政を根本的に転換するよう提案するとともに、防災力向上や公共施設の老朽化対策、救急医療体制の充実、市民生活の支援施策の拡充を求めました。

山市でも深刻な事態に。これは平成24年に2か所の公立保育所（定員160名）を廃止し、公立保育士の非正規を6割まで増やしたことで、さらに、TX沿線開発区域内に保育園予定地を確保せず、『送迎保育ステーション』頼みで人口誘致を進めてきたこと等が要因です。安心して子育てできるまちにするため、公立保育所や児童館の増設、保育士などの賃金・労働条件の改善に力をつくします。

会派	日本共産党				流政会								自由民主党				新風流山				公明党									
議員名 ○賛成 ×反対 一棄権 ※議長は表決に参加しない。	乾 紳一郎	小田 桐仙	徳増 きよ子	植田 和子	森 亮二	青野 直	笠原 久恵	近藤 美保	坂巻 儀一	野田 宏規	大塚 洋一	石原 修治	根本 守	中村 彰男	海老原 功一	中川 弘	加藤 啓子	藤井 俊行	西川 誠之	楠山 栄子	森田 洋一	西尾 段	秋間 高義	斉藤 真理	戸部 滋	野村 誠	菅野 浩考	阿部 治正		
平成28年度一般会計予算（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議員の報酬を引き上げる条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	一	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
市長の給与を引き上げる条例（可決）	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	一	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
子どもの甲状腺エコー検査費用の助成を求める陳情（不採択）	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	一	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
報道の自由を守る意見書（高市早苗大臣の発言）（否決）	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		×	×	×		○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○

いのちを守って奮闘 日本共産党の4議席

市議会議員
いぬい 紳一郎市議会議員
小田 桐たかし市議会議員
徳増きよ子市議会議員
植田 和子

子どもの甲状腺エコー検査陳情不採択 これで子どもの命を守れるのか!

放射能汚染による甲状腺ガン対策として、その検査費用の一部助成を求める陳情を流山市議会が否決しました。国・東京電力に第一義的責任があるとは言え、柏・我孫子など近隣市では検査費用の一部を助成しています。

議会最終日、多数で陳情を否決した直後、「これで子どもの命を守れるんですか!」と傍聴席からお母さんたちの声が議場に響きわたりました。

柏市などでは要精密検査の子どもが増えています。みんなが協力し、子どもの命を優先するべきです。日本共産党はお母さんたちと力を合わせ、これからも子どもの命と健康を守るためにがんばります。



子どもの貧困対策を充実させる動きが強まっています。日本共産党は、国会で野党共同の要望項目を作成し、提案しました。

市議会でも、児童扶養手当や児童手当等の公的手当支給について、「毎月支給にすることで、収入の増減のムラがでず、助かるのに」との声をとり上げ質問。「国

生活支援

子どもの貧困対策の充実を

4期目も1年が過ぎた井崎市政。選挙では一言もふれずに国保料、保育料を新年度から値上げ。また、議会では議員報酬引き上げに自民、公明など多数が賛成しました。日本共産党は負担増、福祉切り捨て、議員報酬引き上げの議案には反対し、市民の願い（陳情）に賛成しました。

医療福祉

流山市内でも経済的理由による死亡事例

「お金がなくても安心して医療にかかれるように」：願いは切実です。ところが、昨年、国保料滞納や生活保護の申請を断られた等により、治療が遅れたことにより、死亡する事例が市内で2件発生。「家族に迷惑をかけたくない」と我慢していたAさんは、がん末期と診断され、治療開始後わずか1か月で亡くなりました。

こんな痛ましい出来事を繰り返してはならないと、日本共産党は、ほとんど使われていない国保の医療費窓口負担免除制度の積極的活用と、市内の病院が実施している「無料低額診療」について市民に情報提供するように求めました。

まちづくり

地域内の経済循環をうながす観光開発を問われるT×駅前市有地活用の公共性・透明性

40～50年続けてきたお店が閉店・廃業し、法人市民税が2年連続して減少するなど市内事業者の経営実態は深刻です。

そんな中、観光に力を入れる井崎市長。市長の肝いりで始めた流山本町への出店誘致では、補助金を使っ

て改修しオープンした店舗が、1年もたずに撤退しました。市当局は「流山市は観光地ではなく住宅地」と認めています。日本共産党

は、「観光行政というなら、全市を視野に、商工農業の振興と一体感ある取り組みを」と提起しました。

セントラルパーク駅前と同様、(株)スターツを開発業者に決定したおたかの森駅北口市有地（1ヶ所）分譲マンション、市民ホール、ホテルの建設が始まります。同一業者が独占していることに疑問の声も…。さらに、民間開発なので情報公開や入札制度の対象ではなく、

特別支援教育の充実を

特別支援学級の法改正が行われてから9年。流山市では保護者、学校、市教委の努力で、32学級まで広がってきました。日本共産党も議会でも何度も取り上げ、充実の後押しをしてきました。

昨年12月、子どもを情緒学級に通わせているお母さんから要望があり、情緒学級設置の大幅な遅れを知らされました。

日本共産党は、文科省とのレクチャー、近隣市視察を行い、議会活動に活かしました。当局の答弁では平成28年度は南部中に情緒学級を設置する事がわかりました。

特別な支援を必要とし、専門的な教育を受けることで一人一人の子どもが持っている力を引き出すために引き続き一緒に取り組みましょう。

身近な要求実現

小児救急医療への助成金が増額に

いぬい 紳一郎



見づらいカーブミラーを交換(東初石2丁目)

小田 桐たかし



名都借跨線橋路面の穴二部補修

徳増きよ子



まずは、応急措置!(江戸川台駅東口)

植田 和子

